

2025

がんプロ学生アンケート 集計結果

回答集計期間

2025年11月27日（水）～2026年1月13日（火）



次世代の九州がんプロ養成プラン

TRAINING PROGRAM FOR NEXT-GENERATION HEALTH PROFESSIONALS
WITH CANCER CARE IN KYUSHU

次世代の九州がんプロ養成プラン 令和7年度 がんプロ学生アンケート

I. 趣旨・目的

「次世代の九州がんプロ養成プラン」の課題、改善点等を把握するため、がんプロコースを履修している学生（インテンシブコースを含む）に対してアンケートを実施する。

II. 実施方法・スケジュール

ウェブアンケートの形式にて実施。

| 時期 | 内容 |
|--------|--|
| 11月27日 | 事業運営推進協議会にて、アンケート内容について審議。 各大学を通じ、がんプロコースの学生（インテンシブ含む）に周知。 アンケート回答を促す（締切：1月13日）。 |
| 1月 | 九州がんプロ事務局にて、回答結果を集約。事業運営推進協議会にて報告。 また、令和6年度の内部評価へ反映。 |
| 2月以降 | 九州がんプロホームページにおいて、実施結果を公表。 |

III. アンケート設問

末尾に付録として掲載。今年度は、「Microsoft Forms」を利用して作成した。

IV. 集計結果 総回答者数 48名

1. あなたの所属について

1. あなたの所属大学を選んでください。

| 回答 | カウント |
|--------|------|
| 九州大学 | 9 |
| 福岡大学 | 1 |
| 久留米大学 | 1 |
| 産業医科大学 | 2 |
| 佐賀大学 | 2 |
| 長崎大学 | 5 |
| 熊本大学 | 6 |
| 大分大学 | 15 |
| 宮崎大学 | 6 |
| 鹿児島大学 | 0 |
| 琉球大学 | 1 |

2. あなたの所属しているコースの種別を選んでください。

| 回答 | カウント |
|-----------|------|
| 大学院コース | 31 |
| インテンシブコース | 17 |

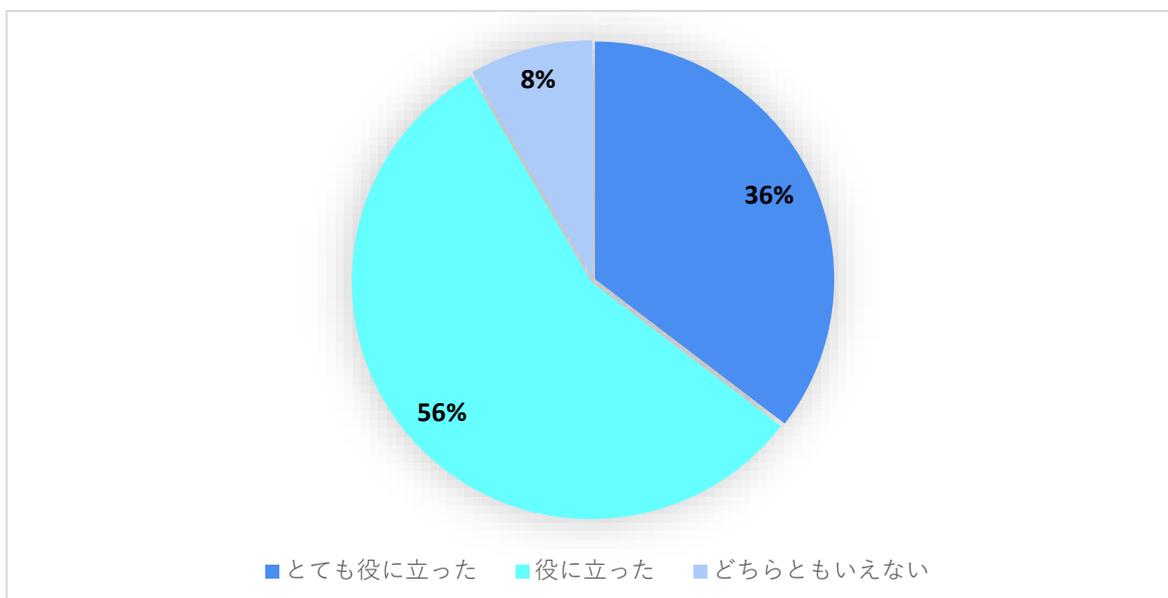
3. あなたの所属する課程を選んでください。

| 回答 | カウント |
|------|------|
| 修士課程 | 7 |
| 博士課程 | 30 |
| その他 | 11 |

2. 授業について

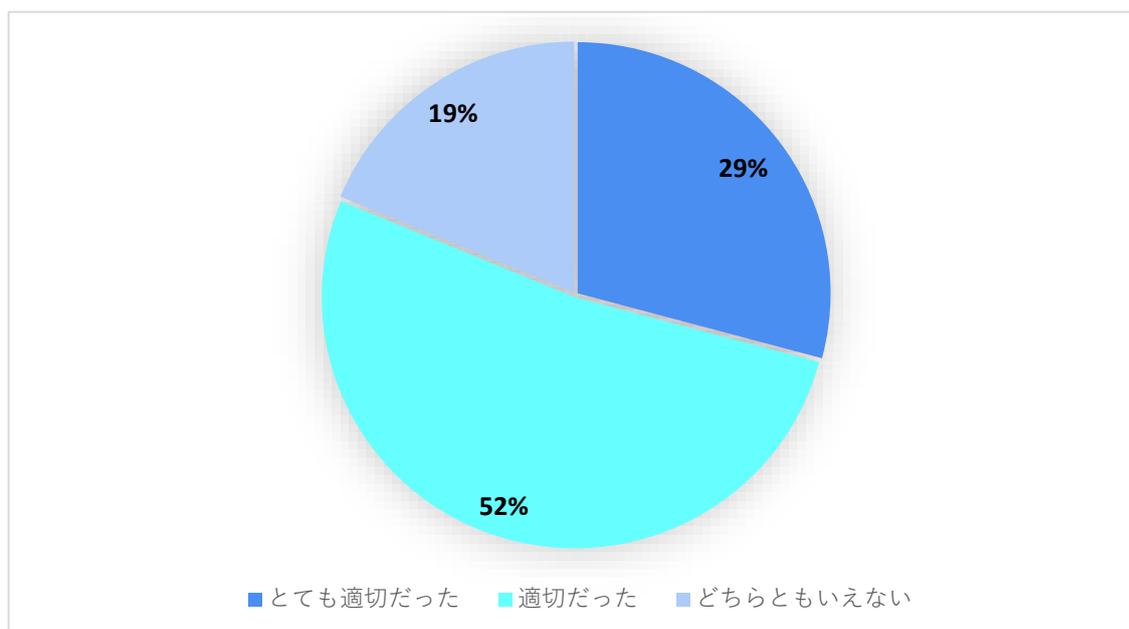
1. 提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？

| 回答 | カウント |
|--------------|------|
| とても役に立った | 17 |
| 役に立った | 27 |
| どちらともいえない | 4 |
| あまり役に立たなかった | 0 |
| ほとんど役に立たなかった | 0 |



2. 提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？

| 回答 | カウント |
|--------------|------|
| とても適切だった | 14 |
| 適切だった | 25 |
| どちらともいえない | 9 |
| あまり適切ではなかった | 0 |
| ほとんど適切ではなかった | 0 |



2-2. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。（抜粋）

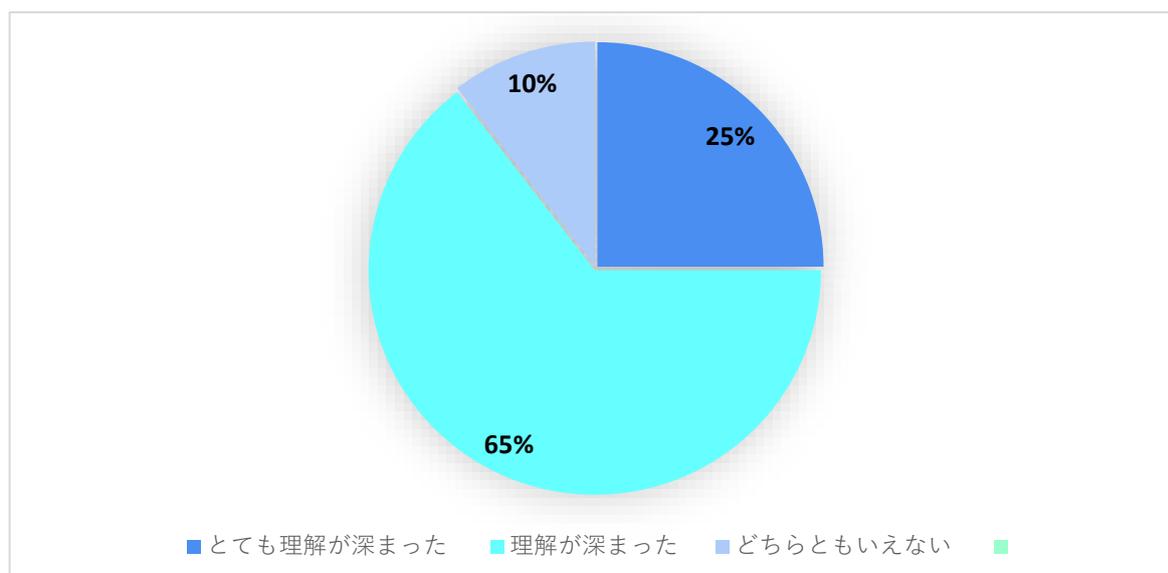
- 事例検討に主に参加し、実際の症例に対する背景のアセスメントや介入の方向性を検討できたこと。その事例に即した学術的背景、看護論などの知識を担当教官からミニレクチャーとして教えて頂き、理解が深まったと感じているため。
- 実習や研究などにおいて講義で学んだ知識等が活用できたため。また、これまでの経験や現在自分が働いている領域なども踏まえながら講義内容を検討していただけたため。
- 現役で最先端の研究、臨床を行っている先生方から直接、話を伺うことができ満足しています。
- 最新の知見がある一方で、学術的な面よりも倫理や臨床試験などの話も多く、勉強にはなるが、自分の研究に直接つながるものは少ない印象。ただし、視野を広げること、研究で気をつけないといけない基本理念を再認識するという点では役立っていると感じる。
- 実臨床で免疫療法に触れる機会が増えていたが、体系的に学んだのは今回が最初だった。

3. 今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。また、具体的なご意見があれば、横の欄に記入してください。(抜粋)

| 項目 | カウント | 具体的なお意見 |
|----------------|------|--|
| 配付資料 | 11 | ・口頭だけなので講義資料も頂けると今後に活かせる。 ・可能であれば、講義資料を PDF データとして頂きたい。 |
| パワーポイントスライド・板書 | 6 | 時間がない中でスライドデータ等があると復習にも役立つ。 |
| 関連する情報や話題の提供 | 5 | これからがんゲノム検査 (特に血液内科を専攻しているので、 ヘムサイト関連) があると嬉しい。 |
| 講義室等の環境 (開催場所) | 4 | 会場が少し遠い。 |
| 開講する曜日・時限 | 13 | すべての講義において、リアルタイムで参加できない場合に、 後で受講できるようにしてほしい。 |
| その他 | 16 | ・オンデマンド配信の充実 ・講義数が多い |

4. がんプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。

| 回答 | カウント |
|----------------|------|
| とても理解が深まった | 12 |
| 理解が深まった | 31 |
| どちらともいえない | 5 |
| あまり理解は深まらなかった | 0 |
| ほとんど理解は深まらなかった | 0 |



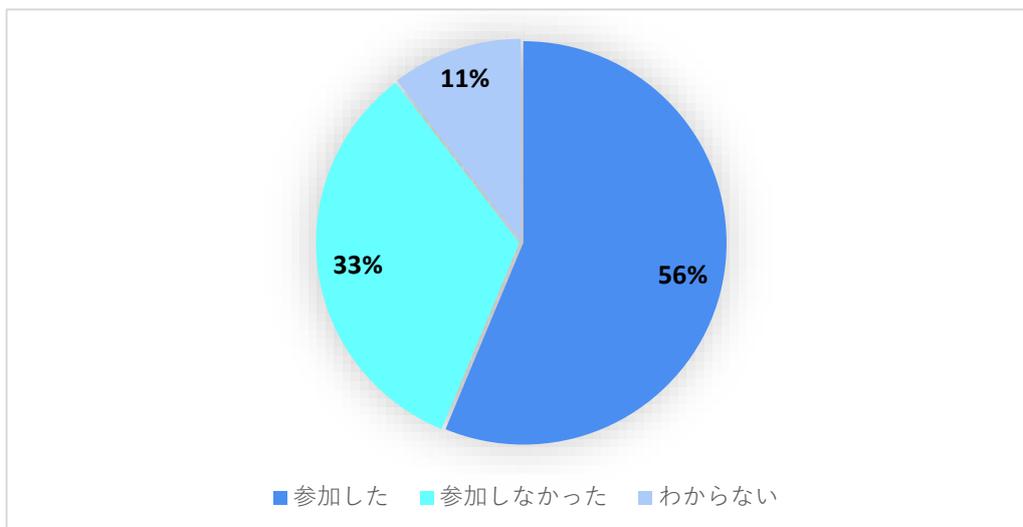
4-2. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。(抜粋)

- エキスパートパネルなどへの参加を通じて、最新のパネル検査、治験について最新の知見にふれることができた。
- 従来の専門分野における知識だけでなく、新しい技術や取り組みなどについても学ばせていただけたため。
- 遺伝子変異などを踏まえた新たな治療方法が多くでてきてい状態において、各腫瘍に関する治療方針に関して臨床試験の結果等を用いた説明を行っていただくことで理解を深めることができました。
- 精神面でどのように薬剤師がサポートすればよいか学ぶことができ、実務でしたことがない小児への対応なども学べたから。

3. 講義・演習以外に関する評価

1. 講義・演習以外に、講演会・講習会・研修（他機関への出張・見学含む）・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？

| 回答 | カウント |
|---------|------|
| 参加した | 27 |
| 参加しなかった | 16 |
| わからない | 5 |

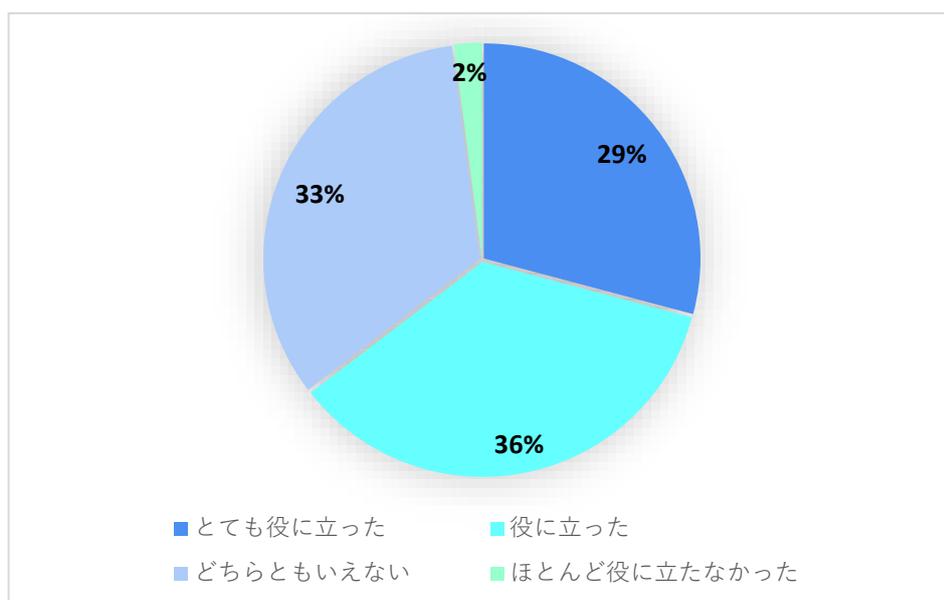


1-2. 「参加した」と回答した方にお聞きします。どのような活動に参加しましたか？（複数選択可）

| 回答 | カウント |
|-------------------|------|
| カンファレンス | 5 |
| セミナー・講演会 | 21 |
| 研修（他機関への出張・見学を含む） | 7 |
| 学会発表 | 7 |
| その他 | 1 |

1-3. 参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？

| 回答 | カウント |
|--------------|------|
| とても役に立った | 14 |
| 役に立った | 17 |
| どちらともいえない | 16 |
| あまり役に立たなかった | 0 |
| ほとんど役に立たなかった | 1 |



1-4. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。(抜粋)

- 韓国研修がとても良かった。今のままでは日本が世界から取り残されるのではという危機感や今後の研究活動への動機づけができたから。
- 他の地域で実施しているがんプロセミナーに参加した。同じコースを選択している学生が少ないため、全国様々な人とディスカッションする機会が持てたことが刺激や学びにつながった。
- zoomでの参加ではあったが、その分著名な方の講演を聞かせていただける機会となり、これまでの自身の看護について振り返る機会となった。
- 国際学会に参加する機会があり、最新の知見を学ぶことができたとともに、ハイレベルな多くの研究者の存在を知ったことが自身の診療や研究のモチベーション向上につながったと感じるため。

1-5. 上記(1)で「参加しなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きします。

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。(抜粋)

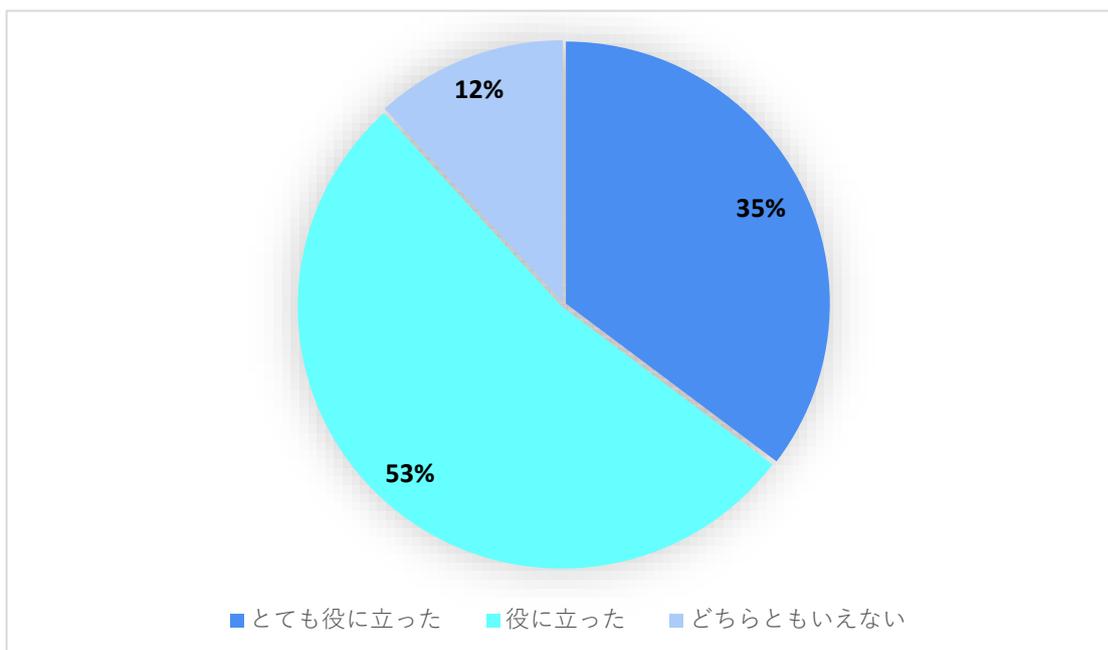
- 社会人大学院のため、日常診療と参加のタイミングがあわなかった。
- 忙しく、都合が合わなかった。

2. がんプロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会がありましたか？

| 回答 | カウント |
|---------|------|
| 交流を持った | 17 |
| 交流はなかった | 24 |
| わからない | 7 |

2-2. 「交流を持った」と回答した方にお聞きます。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？

| 回答 | カウント |
|--------------|------|
| とても役に立った | 6 |
| 役に立った | 9 |
| どちらともいえない | 2 |
| あまり役に立たなかった | 0 |
| ほとんど役に立たなかった | 0 |



2-3. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

- 長崎に一週間地域医療の研修に行き、担当の長崎大学の先生と食事に行く機会を設けていただいた。
- 他職種からの講義を受講する機会があり、今後協働していくうえで、各々の活動・考え方・立場などを学ぶ機会になったから。
- 医局、診療科の中で経験を積んできたが、今回外の世界に触れることができ自分の視野が広がったから。

2-4. 上記(2)で「交流はなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きます。

上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

○遠隔地での社会人大学生のため、中々機会を確保できなかった。

○今年度は新たな職種との関わりはあまりなかったのですが、今後勉強会などに積極的に参加し、他職種とのつながりを作ることができればと考えております。

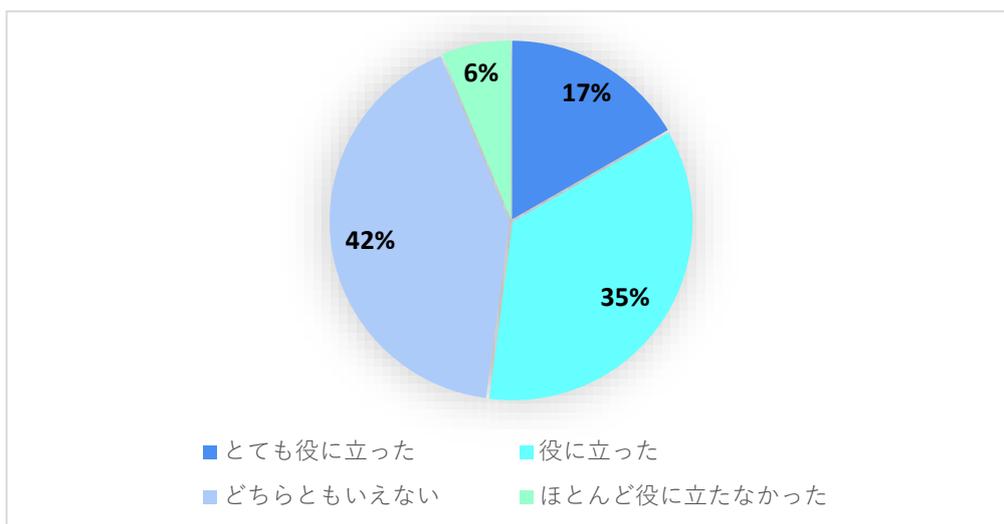
4. eラーニングについて

1. eラーニング講義を視聴したことがありますか？

| 回答 | カウント |
|-----|------|
| はい | 24 |
| いいえ | 24 |

1-2. eラーニング講義は、あなたの学習に役立ちましたか？（上記1で「はい」と回答した方のみ）

| 回答 | カウント |
|--------------|------|
| とても役に立った | 8 |
| 役に立った | 17 |
| どちらともいえない | 20 |
| あまり役に立たなかった | 0 |
| ほとんど役に立たなかった | 3 |



1-3. 上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。(抜粋)

○がん患者へのコミュニケーションなど、実務ではそれほど実際に関わる機会がなかったため、どういうことに気を付ける必要があるかなどを知ることができた。

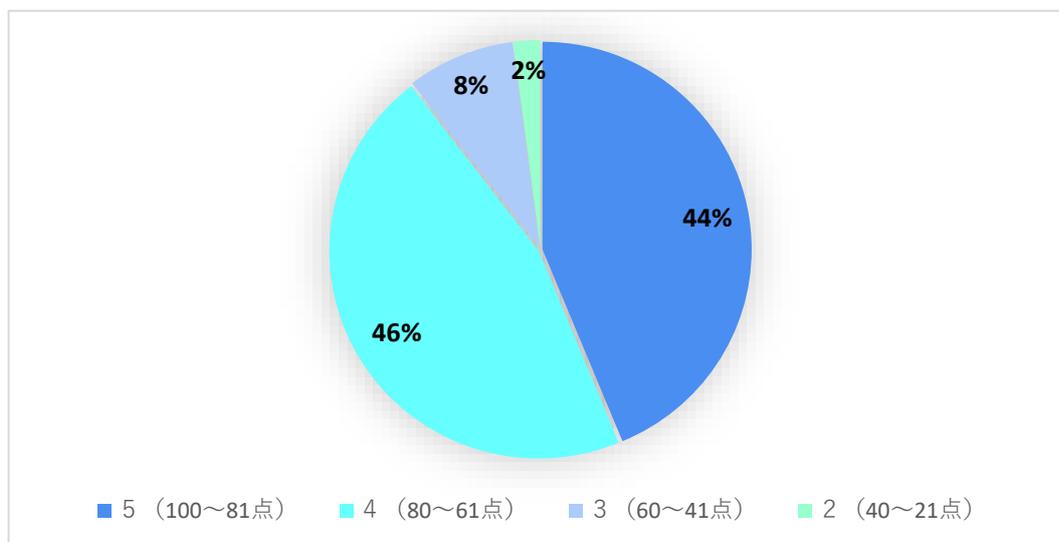
○いつでも講義が受けられ、腫瘍に関する理解を深めることができた。

○がんの発生から治療法、遺伝性腫瘍など網羅的に学ぶことができたため。

5. 全体の満足度

1. がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。

| 回答 | カウント |
|-------------|------|
| 5 (100～81点) | 21 |
| 4 (80～61点) | 22 |
| 3 (60～41点) | 4 |
| 2 (40～21点) | 1 |
| 1 (20～0点) | 0 |



2. がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。

○webを通じての講義は参加しやすく、新たな知識を得ることができるので継続してほしい。

○普段なかなか交流できない他施設の方と意見交換できるのが良かった。今後、担当の先生方に研究でも相談させていただけたいと考えている。

○自己の役割やこれまでの実践を内省する機会が多く持てたことで、漠然と実施していたことを、根拠を交えて整理できたと思う。時間をかけて学習する機会が少なかったため、改めて学びを深める環境には入れたことはとてもよかった。職種間の隔たりをなくして、同じがんプロに参加しているメンバーともっと交流を持てる機会があると、さらなる学びになるのではないかと感じている。

○学会参加、論文支援、海外研修は続けて欲しいです。大学や診療科、国を超えた研修が成り立つのは国のプログラムならではの強みだと思います。

3. がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。

○あまり周知されていない印象を受けたので、もう少しプロモーションに力を入れても良いのではと思った。

○どのような支援制度なのか受講生に明確に伝わっていない印象がある。

V. 次回アンケート実施に向けて

- ・今回の回答結果をもとに講義・事業の改善を行うとともに、必要に応じて学生との面談等も行うことで、学生の意見を的確に把握し、今後の事業のPDCAサイクルに反映させていく。

付録：アンケート設問内容

回答者が実際に閲覧した画面を以下に掲載。設問、選択肢の一覧は末尾に併せて掲載。

令和7年度 「次世代の九州がんプロ養成プラン」在学生アンケート調査

1. 1-1.あなたの所属大学を選んでください。*

- 九州大学
- 福岡大学
- 久留米大学
- 佐賀大学
- 長崎大学
- 熊本大学
- 大分大学
- 宮崎大学
- 鹿児島大学
- 琉球大学
- 産業医科大学

2. 1-2.あなたの所属しているコースの種別を選んでください。

*

- 大学院コース
- インテシブコース

3. 1-3.あなたの所属する課程を選んでください。*

- 修士課程
- 博士課程
- その他

4. 2-1.提供された講義・演習等は、あなたの臨床や研究において役立つものでしたか？

*

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

5. 2-2.提供された講義・演習等の水準（レベル）は、あなたにとって適切でしたか？ *

- とても適切だった
- 適切だった
- どちらともいえない
- あまり適切ではなかった
- ほとんど適切ではなかった

6. 2-3.上記(2-2)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

*

回答を入力してください

7. 2-4.今後の講義・演習等で改善して欲しいと思うものがあれば選んでください。（複数可） *

- 配付資料
- パワーポイントスライド・板書
- 関連する情報や話題の提供
- 講義室等の環境（開催場所）
- 開講する曜日・時間
- その他（*内容は、下記2-5に記述願います。）

8. 2-5.上記(2-4)の選択肢を選んだ理由について、具体的なご意見があれば、お聞かせください。
また、(その他)を選択された場合、具体的な内容をこちらにご記載ください。

回答を入力してください

9. 2-6.がんプロの講義・演習を受けて、がん医療への理解が深まりましたか。

*

- とても理解が深まった
- 理解が深まった
- どちらともいえない
- あまり理解は深まらなかった
- ほとんど理解は深まらなかった

10. 2-7.上記(2-6)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

*

回答を入力してください

11. 3-1.講義・演習以外に、講演会・講習会・研修（他機関への出張・見学会含む）・セミナー・カンファレンスへ参加する機会がありましたか？

*

- 参加した
- 参加しなかった
- わからない

12. 3-2.「参加した」と回答した方にお聞きます。どのような活動に参加しましたか？（複数可）

- カンファレンス
- セミナー・講演会
- 研修（他機関への出張・見学会含む）
- 学会発表
- その他

13. 3-3.参加した活動は、あなたの学習に役立ちましたか？

☐

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

14. 3-4.上記(3-3)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください ☐

回答を入力してください

15. 3-5.上記(3-1)で「参加しなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きます。上記の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせ下さい。 ☐

回答を入力してください

16. 3-6.がんプロの活動を通じて、学生や教員、他職種の医療人との交流を持つ機会がありましたか？ * ☐

- 交流をもった
- 交流はなかった
- わからない

17. 3-7.「交流を持った」と回答した方にお聞きます。その交流は、あなたの学習に役立ちましたか？ ☐

- とても役に立った
- 役に立った
- どちらともいえない
- あまり役に立たなかった
- ほとんど役に立たなかった

18. 3-8.上記(3-7)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。

*

回答を入力してください

19. 3-9.上記(3-6)で「交流はなかった」または「わからない」と回答された方にお聞きます。上記の選択肢を選んだ理由について具体的にお聞かせ下さい。

回答を入力してください

20. 4-1.eラーニング講義を視聴したことがありますか？

*

はい

いいえ

21. 4-2.eラーニング講義は、あなたの学習に役立ちましたか？ *

とても役に立った

役に立った

どちらともいえない

あまり役に立たなかった

ほとんど役に立たなかった

22. 4-3.上記(4-2)の選択肢を選んだ理由について、具体的にお聞かせください。 *

回答を入力してください

23. 5-1.がんプロに参加して、現時点でのあなたの全体的な満足度（点数）をお聞かせください。

*

5（100～81点）

4（80～61点）

3（60～41点）

2（40～21点）

1（20点～0点）

24. 5-2.がんプロに参加して、良かった点・継続して欲しい点を記入してください。* 

回答を入力してください

25. 5-3.がんプロに参加して、改善して欲しい点・提案があれば記入してください。



回答を入力してください

送信

文部科学省『次世代のがんプロフェッショナル養成プラン』採択事業



次世代の九州がんプロ養成プラン

TRAINING PROGRAM FOR NEXT-GENERATION HEALTH PROFESSIONALS
WITH CANCER CARE IN KYUSHU

令和7年度 がんプロ学生アンケート集計結果

発行 令和8（2026）年2月
編集・発行 九州大学大学院医学研究院 連携腫瘍学分野（九州がんプロ事務局）
ijsganpro@jimu.kyushu-u.ac.jp
<http://www.k-ganpro.com/>